

乙一女
8

II
8

特別科學教育

一、特別科學教育は
ビューラーによる教科書
右處置要綱
右處理方針

山崎 306

21.11.7

II - 8

(別紙) 特別科學教育の處理方針 (昭二一〇一三)

特別科學教育小委員會
科學教育研究特別委員會

現在文部省が試みに行つてゐる特別科學教育は制度化を必要とする段階に到達してゐるが國內教育事情の著しい變化に鑑るときこれを試験として制度を設けて行ふことは非常に困難と認めざるを得なくなつた。依つて昭和二十一年度を以てこれを打切る。

併し科學的素質の優秀な生徒を集め特別な教育をほどこす方法も科學振興の一つの行き方であるから地方によりまたは學校により自主的にこの種の教育を實施することが望ましい。この場合には充分な助の援助を期待する。

現在特別科學教育を行中の五校が自主的にこれを繼續する場合に

四 文部省の特別科学教育研究會の解散に伴ひ別にこの種科学教育の連絡に當る機關の設置されることが望ましい
は來年度以降も文部省において特別に援助することを希望する

以 上

別紙二 特別科学教育の應援要綱

昭和二十一年十月十九日

二十三

一 文部省が戰時中から試みに行つて來た特別科学教育は、終戰後の國內事情の著しい變化により、これを制度化して行ふことは適當でないこ認めるに至つたから文部省がこれを行ふことは昭和二十一年度をもつて打切る。

二 科學的素質の優秀な兒童生徒に對しその天分を伸ばすやうな教育を施すことは科學振興の上から見て甚だ大切なことであるから、地方によりまたは學校により自主的に特殊の教育を施すことが望ましい。この場合には文部省として適當な援助を考慮する。

三 現在特別科學教育を試行中五校が自主的に之を繼續する場合には、

來年度以降も文部省は援助を惜まない。

備考
附

- (一) 文部省の特別科學教育研究會は之を解散する。
- (二) 本件は昭和二十二年度より實施する。

参考書　参考書類

特別科學教育はどうなるか

清水科學教育局長談

文部省が現在おこなつてをります特別科學教育は、太平洋戰爭の末期
すなはち昭和二十年一月ころ京都帝大、東京、廣島、金澤各高師お
よび東京女高師の五校で始められてから、二年たらずになります。

この間に戰爭が終結し、國內の客觀情勢は全く一變して、この教育の
當初の目的は是正する必要があり、また新しく憲法も定まり、これにとも
づいて新しい教育も與らうとしてをります時、新しい觀點からこの教
育を充分に検討しなほさなければならぬのであります。一方、この
教育の實狀をつぶさに視察してみると、教師も生徒兒童もひとつ心
になつて眞剣な教育が展開せられ、充分な教育效果をあげてゐるもの

と認められるのであります。しかし、これが試みとしておこなはれて
をりますために、その運営にもいろいろ支障があり、教へてゐる先生
、習ふ生徒兒童、特にそれらの父兄の間に將來どうなるかといふ不安
は蔽はれないものがあります。したがつて、もしこれを繼續するとす
れば、この教育を制度化しなければ充分にその效果を發揮し得ない實
情にあるのであります。ここにおいて、二年たらずの経験でその是非
を考へ存廢を論ずることは適當ではありませんが、この際この教育を
どうするかをはつきり決めなければならぬ段階に到達してゐるものと
考へるのであります。先般のことについて委員會をもよほしまして
その意見をさらに本省において慎重に検討し要綱のやうなはつきりし
た態度をとることになりました。すなはち、この教育の當初の目的が
國の現状にそぐはなくなつたことや、終戦後わきおこつた民主の思潮

お上ひ新し憲法の精神などにかんがみて、國の方針として制度を設
けておこなうことは適當でないと考へるやうになり、また四國の情勢
は制度を設けることが非常に困難な實情となりましたので、文部省が
これをおこなうことは本年度をもつて打切ることにいたしましたのであります。しかし、新らしい教育は、個性の自由な伸長を主張してをりますので、優秀な兒童生徒に對し、いろいろな方法で、特別學級による
教育もその一つ、その天分をのばすやうな教育を施すことは、科學振
興上、また新らしい教育の見地から、はなはだ喜ばしいことであります。したがつて、この様な特殊な教育を地方により、または學校によ
つて自主的におこなうことは望ましいことでありまして、そのよひも
のには文部省としてできるだけ援助して參りたいと考へてをります。
勿論、現在特別科學教育をおこなつてゐる五校が自主的に繼續する場

合には、何としても援助をつづけて参りたいと思ひます。

これを要するに、特別科學教育は國が國の方針としての一的にこれを
おこなうことは適當でないと考へてやめるのであります。地方や學
校が自主的にこれをおこなうことは、むしろ望ましいのであります
。この教育が戰時中の古い理念の殻をぬぎすぎて、新しい教育の見地
に立ち、新ししい自主の形において、また創意にみちたいろいろな方
法によつて、すくすくと成長し、科學の偉材を新日本の將來にそくそ
くと送り出すことを心から希望するものであります。

